

わがめいし

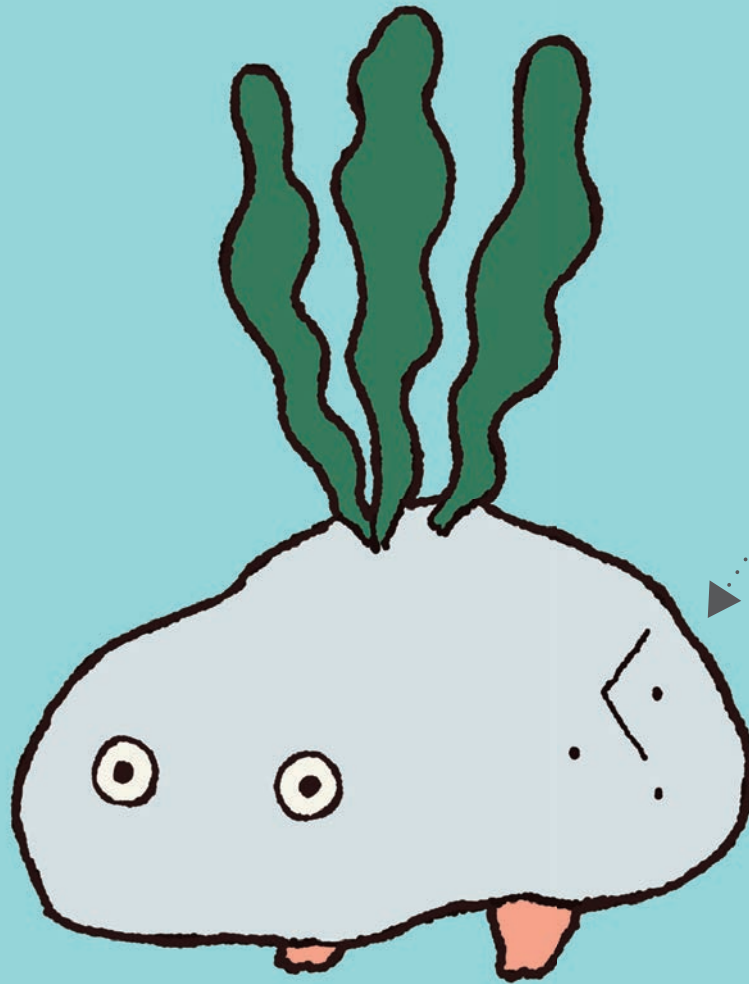


キャラクター紹介 1

わかめいしさん

わかめと足の生えた石。
おしりにモアイさんがついて
いる。
寂しがりのみらいちゃんを笑
わせるために、わかめを生
やしてみた。

変な顔をしたり、モノマネを
したり、わかめで浮いたりす
る。
主に水槽内で生活している
が、石なので外でも生きら
れる。



モアイさん

わかめいしさんのお尻
についている凹凸。
みらいちゃんのお父さん
に似ている。哲学者。
さびしさに対し、哲学
や禅の知識を踏まえた
優しいコメントをくれる。

三面图



正面



侧面



背面

C: 18%
M: 10%
Y: 10%
K: 0%

C: 85%
M: 45%
Y: 77%
K: 5%

C: 5%
M: 45%
Y: 40%
K: 0%

C: 0%
M: 0%
Y: 0%
K: 0%

表情集

わかめいしさん モノマネ集



うさぎさん



にゃんこ



貞子さん

モアイさん 表情集



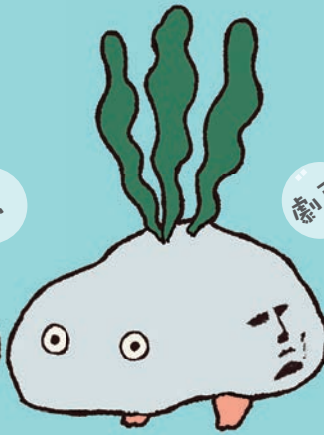
寝



脚



驚



鬱画



キラッ



ねこ

あらすじ

9歳の女の子「みらいちゃん」は、お母さんが大好き。でもお母さんは忙しいし料理が苦手なので、一緒に温かいご飯を食べられない。

ある日、みらいちゃんのだいじな友達であるグッピーさんが死んでしまった。寂しくなったみらいちゃんはペットショップの水槽で、モアイに似た凹凸のある石を見つける。なんとそのモアイのような凹凸は、他界したお父さんの顔に似ていた。

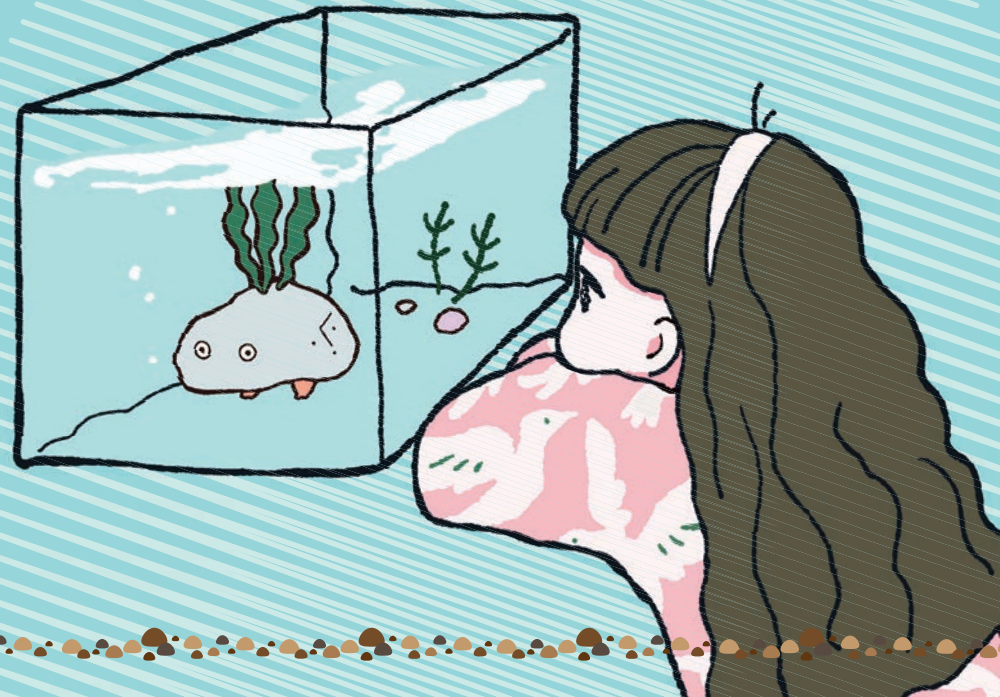
みらいちゃんは店員さんに相談し、石を譲ってもらう。そして部屋で一人、石に寂しさを打ち明けたところ、なんとわかめが生えてくる。

わかめいしさんと名付けたその石は、みらいちゃんの寂しさをわかめにしてくんぐん伸ばし、逆三角形に切り取って自分の口元に貼り付ける。

笑顔になったわかめいしさんのおしりで、モアイさんが喋り出す。

「お母さんを、笑顔にするんだ」

みらいちゃんはさびしさをわかめに変えて、モアイさんのアドバイスを頼りに、初めての料理に挑戦する。



キャラクター2



みらいちゃん

9歳の女の子。わかめいしさんを拾った。お母さんが大好き。

本当はお母さんともっと話したいが、仕事で疲れた表情を見ると、わがままを言えない。

モアイさんのアドバイスをうけ、料理の練習をすることに決めた。

お母さんを元気な笑顔にして、一緒においしいご飯を食べたい。



おかあさん

未亡人。お父さんに先立たれたので、みらいちゃんを養うために一生懸命働いている。

壊滅的に料理が下手で、白いご飯しか炊けない。

ただでさえ仕事で寂しい思いをさせているのに、帰ってきてても温かいご飯さえ出せないことで、みらいちゃんに対して負い目を感じている。



おとうさん

みらいちゃんが小さい時に世界。

有名な哲学者だった。
顔がモアイに似ている。



ぐっぴーさん

みらいちゃんが飼っていた魚。まだ成仏していない。

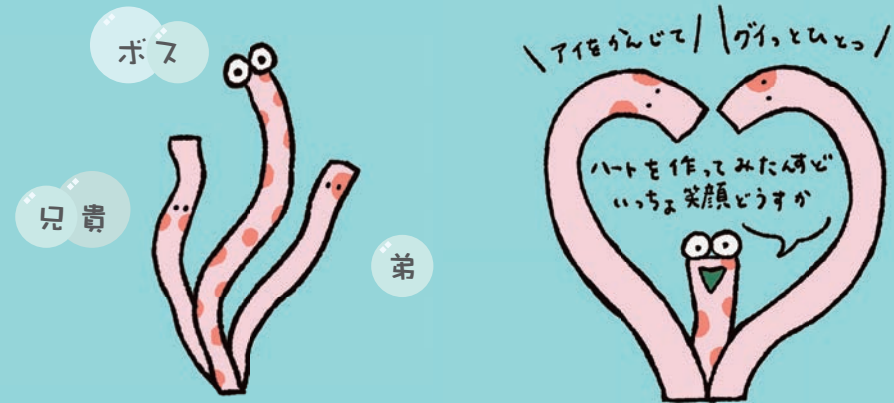
実はピラニア。

キャラクター 3

その他キャラクター

● ひよえーさん

ところてんのような3兄弟。実はえびっぴい微生物から産まれた。わかめいしに三角わかめをつけられて笑顔を作られる。



● ひじきいしさん

わかめいしさんの友達。みらいちゃんの料理のお手伝いのためにやってきた。ひじきを生やすことが得意。ちょっとだけ格好つけたがり。

● にゃんし

ねこ。グッピーさんを遊んで殺してしまった。わかめいしさんのことも狙っている。悪気は一切ないが、わかめいしさんにとっては命の危険がある。グッピーさんと対比され、モアイさんに研究されている。顔の横幅が広い。ヒゲが三つ編み。めちゃくちゃ足が短い。無駄にきれいでフッサフサの尻尾。

● ぼこぼこ星人

みらいちゃんのはじめての料理で、お湯が沸騰したときにでてくる星人。

「やけどしないようにきをつけて」と歌い去っていく。

刹那的な存在。彼が「実在」し、「認識」し得るのか、モアイさんは研究を重ねている。生まれては去っていく彼は、もはやただの「現象」なのかもしれない。ものすごくサブキャラ。

テーマ

笑顔は健康的な食事から



白いご飯に浮かび上がるわかめでできた笑顔